

Q3-8. 立野ダムの貯水池周辺は、湛水に伴う地すべりや斜面崩壊が発生する心配はないのでしょうか。

○一般に、湛水に伴うダム貯水池周辺斜面での地すべりについては、全国共通の技術指針に基づき調査を行った上で、必要に応じて対策工を実施し、湛水に対する斜面の安定性を確保することとしています。

○熊本地震後に改めて、技術指針に基づいて調査を行っているところですが、これまでの調査で、湛水予定地周辺斜面から湛水の影響により不安定化の可能性がある 16 地区の斜面を抽出したところです。

(図－1)

○これらの 16 地区については、関係各分野の第一人者からなる「立野ダム建設に係る技術委員会」において、「必要に応じて対策工を実施することにより、湛水に対する斜面の安定性を確保できると考えられる」との評価を得ており、引き続き、対策工の必要性などを精査し、必要な場合には対策工を実施して斜面の安定性を確保します。

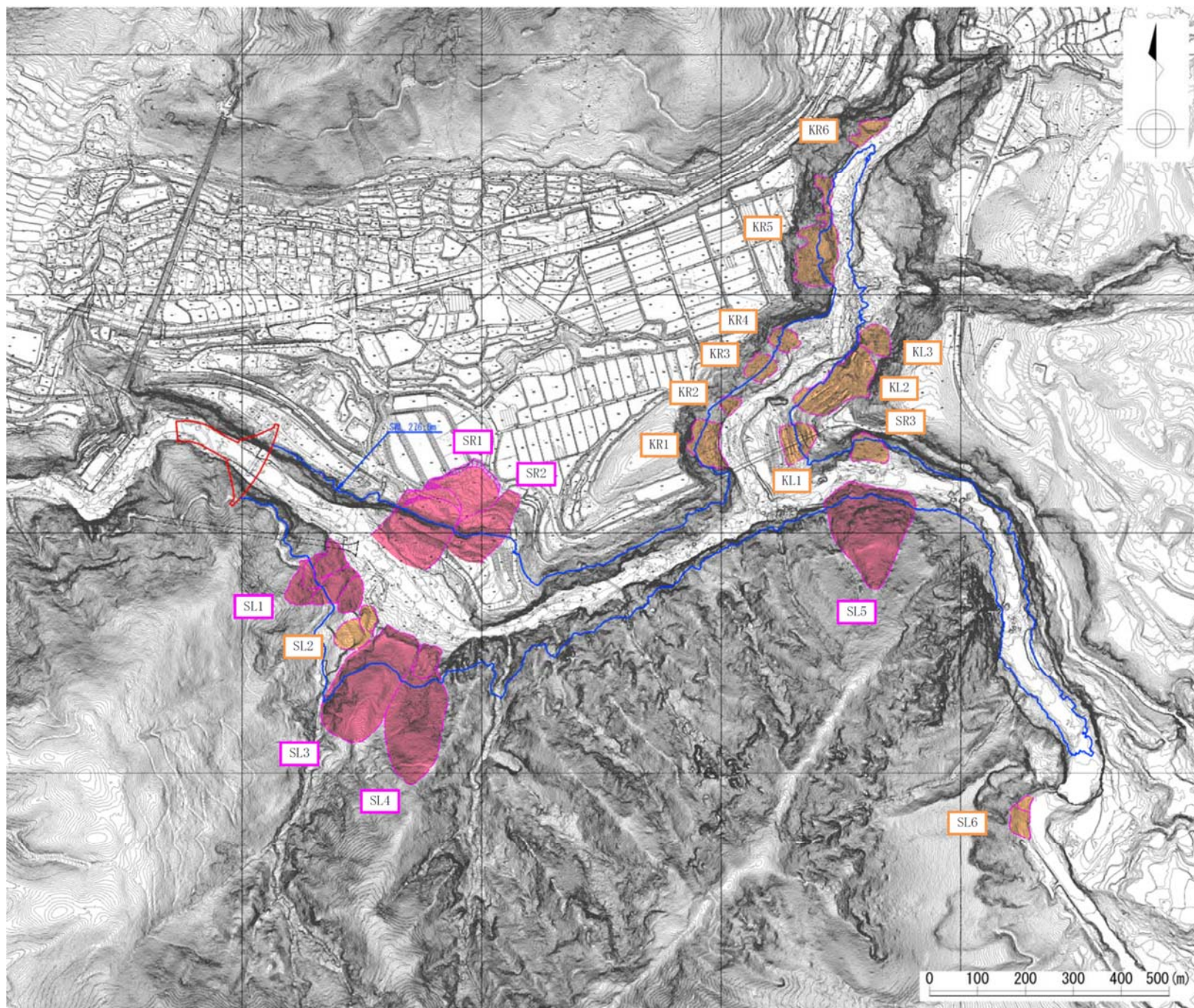
○なお、湛水の影響は受けませんが斜面上部等の崩壊斜面についても、林野庁等による対策工が既に実施されています。(写真－1～3)

○このことから、大規模な斜面崩壊が発生するような危険はないと考えています。

○詳しい資料については[こちら](#)に掲載しています。

【記号凡例】

- 滑落崖
- 地すべり状地形  
溝状の凹状地形  
不明瞭範囲
- 崖斜面のうち、  
層厚が厚いと  
推定される範囲



図一 貯水池周辺の地すべり地形等の分布（地震後）





写真－1 斜面对策完了後の状況



写真－2 斜面对策完了後の状況



写真－3 斜面对策の施工状況